

資料1 追究する力を伸ばす指導過程

段階	児童の活動	追究場面	教師のはたらきかけ	思考の流れ
とらえる	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題場面を把握し、問題意識を持つ。 ○ 問題を分析する。 ○ 既習学習との類似点や相違点を明確にし、学習意欲を持つ。 ○ 課題をとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんな問題か考える。 ○ 問題を分析する。 ○ どんな課題か考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 興味関心ある問題場面を設定する。 ○ 解決の必要感のある課題意識を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ おもしろうだな。 ○ 何を学習するのかな。 ○ 前時と違うな。 ○ 課題を解いてみたい。
見通しを立てる	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項や既習経験を想起し、どの考えが解決に適用できるか見通しを立てる。 ○ 解決の方法や手順をはっきりさせ、解決の計画を立てる。 ○ 解決の結果を予想する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項を想起する。 ○ 解決方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項や既習経験を想起させる。 ○ 課題解決のための方法や手順を考えさせ、解決への方向づけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ どうすればできそうかな。 ○ 前に学習したことを使えそうかな。 ○ ○○のやり方でやってみよう。 ○ 答えは○○かな。
つきとめる	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の計画にそって、具体物・半具体物・念頭などの操作により自力解決する。 ○ 別の解決方法を考える。 ○ 自分の考えを図や式、ことばなどでまとめる。 ○ 操作や記録をもとに解決について多様な考え方を出し合い、比較修正して予想を確かめる。 ○ 用語・記号・式などについて知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自力で解決する。 ○ 別な方法を考える。 ○ よりよい考えにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 計画にそって、既習経験を生かし、具体物・半具体物・念頭などの操作をさせ、意欲を持続させながら、自力解決させる。 ○ 集団による話し合いを通して、多様な考え方をよりよい考えにねり上げさせる。 ○ 用語・記号・式などについて知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ よし、やろう。 ○ もっと別なやり方はないか。 ○ ○○さんの考え方と同じだ。 ○ ○○さんの考え方がいい。
まとめ・深める	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分かったことや大切なことをノートにまとめる。 ○ 共通の性質や発見したきまりについてまとめる。 ○ どんな問題にでも合うように一般化する。 ○ 学習内容を適用して問題を解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分かったことや見つけたことを自分のことばでまとめる。 ○ 新しい考え方や方法を生む。 ○ 新しい考え方を使って解く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習したことを自分のことばでまとめさせ、「分かった」「できた」という成功感や満足感を味わわせる。 ○ 考えを一般化する。 ○ 思考の手順・筋道・方法・結果などを適用させ、定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分かったことをまとめよう。＼○○が分かった。 ○ 学習した事を使って、問題が解けるかな。 ○ 問題が解けた。 ○ できた。

七夕集会のかざりをつくる紙の大
きさを家人に知らせ、家で準備する

二年（長さ一）の例

課題提示の例
「たてとよこの長さをしらせよう」

この段階で児童に何を学習するのかを明確にさせたうえで「よし、やるぞ」と強い学習意欲を持たせる。
解決せざるを得ない場面を設定し、

○分からぬところは何かを明確にさせ、解決の必要を持たせる
○今までに知っている解決法では面倒なことに気づかせ、簡潔な方法を考えさせる
○分からないところをはつきりさせ、分からぬ部分を追究させる、など

○課題解決に必要な条件をふせぎ問題を抱かせる

(1) 望ましい課題
○本時の目標が十分に達成されるものであること
○学習したくなるものであること
○教師の指導により、児童自身が解決できるものであること
○授業の終わりまで持続するものであること

(2) 課題把握
○課題解決に必要な条件をふせぎ問題を抱かせる

○興味や関心を持っているもの
○生活に身近なもの
○なるべく具体的で、操作できるもの
○新鮮味のあるもの